No. 195

長文読解 ULTIMATE CHEAT SHEET

分からない文に出会ったときの対処法10

分からない文で止まるのは仕方ない。差がつくのは止まった後の動き方。構造→文脈→撤退の順に試す10の対処法を、例文つきで。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 まず本物の動詞を探す。動詞が決まれば骨格が見える

2 次に前後の文。言い換えや具体例が答えを持っている

3 設問に関係なければ、印をつけて先へ進む

◆ 構造で解く5つの対処法 5

単語は分かるのに意味が取れない時は、ほぼ構造の問題。

☐ 1 本物の動詞を探す

時制を持つ主節の動詞(述語動詞)を探す。その手前の名詞のかたまりが主語。関係詞節の中の動詞と区別する。

> The way people in the village greet each other **surprised** me.
> その村の人々のあいさつの仕方に、私は驚いた。(greet は節の中、surprised が文の動詞)

☐ 2 修飾語をカッコでくくる

前置詞句は( )、関係詞節・分詞は[ ]。くくって残った S+V(+O/C)が文の芯。

> Many of the problems [we face] (in big cities) **can be solved** (with simple ideas).
> 大都市で私たちが直面する問題の多くは、簡単な発想で解決できる。

☐ 3 動詞の数−1＝つなぎの数

時制を持つ動詞が3つなら、接続詞か関係詞が2つあるのが基本。見えなければ、関係詞・that の省略を疑う。

> The book I **borrowed** from the teacher you **recommended** **was** great.
> あなたが勧めてくれた先生から借りた本は、すばらしかった。(動詞3つ→省略された関係詞が2つ)

☐ 4 倒置・省略・挿入を戻す

否定語や Only+副詞(句・節)が文頭なら倒置。※Only John knew… のように主語の一部なら倒置しない。カンマで挟まれた部分は挿入なので、外して読む。

> **Only after** the test **did I realize** my mistake.
> → I realized my mistake only after the test. テストの後で初めて間違いに気づいた。

☐ 5 it と that の正体を決める

it は形式主語か、強調構文か、前の内容か。that は関係詞か、接続詞か、同格か。役割を決めると訳が決まる。

> **It was not until** she left **that** I noticed how much she had helped me.
> 彼女が去って初めて、どれほど助けられていたかに気づいた。(not until の強調構文)

名詞だと思った語が動詞かも

The old man the boat. は一見、動詞がない。実は the old＝老人たち、man＝動詞(〜に乗り組む・人員を配置する)で「老人たちがそのボートに乗り組む」。言語学で袋小路文(ガーデンパス文)と呼ばれる有名な例だ。最初の読みで行き止まったら、品詞を疑って読み直す。入試では、名詞にも動詞にもなる語(house / face / plant / need)でこれが起きる。

◆ 文脈で補う3つの対処法 3

1文で分からなくても、文章全体は分かるように書かれている。

☐ 1 前後の文で言い換えを探す

In other words / That is / i.e. の後は、前の難しい内容の言い換え。ダッシュの後も言い換え・補足が多い。直後の For example も答えのヒント。

> His explanation was **opaque**. **In other words**, none of us could follow it.
> 彼の説明は分かりにくかった。つまり、誰もついていけなかった。

☐ 2 品詞と＋−だけ決める

知らない語は、名詞か動詞か、良い意味か悪い意味かだけ決めて進む。逆接・譲歩の語が＋−の手がかり。

> **Despite** the **arduous** journey, they arrived smiling.
> その骨の折れる旅にもかかわらず、彼らは笑顔で到着した。(despite→笑顔の逆＝大変な)

☐ 3 段落の主題文から逆算

分からない文が具体例や補足なら、段落の主題文(多くは1文目)と同じ方向の意味のことが多い(However などがあれば逆向き)。主張から意味の向きを決める。

◆ 判断と撤退の2つの対処法 2

分からない文を全部わかろうとしない。点になる所に時間を使う。

☐ 1 設問に関係あるか判断

下線部・空所・設問の根拠になる文なら粘る。そうでなければ大意だけつかんで進む。先読みした設問がここで役に立つ。

☐ 2 印をつけて先へ進む

1文に30秒ほど止まったら(目安)、?の印をつけて次へ。後の文で言い換えられて分かることが多い。最後に時間が余れば戻る。

◆ 症状別・どれから試す？

上の10の対処法を、症状に合わせて組み合わせる。

症状	まず試す	次に
単語は全部知っているのに意味が取れない	動詞を探す	省略 → it・that
文が長すぎて途中で迷子になる	カッコでくくる	動詞を探す
語順がおかしく見える	倒置・挿入を戻す	強調構文か
知らない単語が意味の中心にある	言い換えを探す	品詞と＋−
文は訳せるが、何が言いたいのか分からない	主題文から逆算	直後の例
何をしても分からない	設問に関係あるか	印をつけて先へ

◆ 見えないと止まる「隠れ構造」8つ

「倒置・省略・挿入を戻す」で、入試によく出る形。戻せば普通の文になる。

型	例	戻すと
関係詞の省略	the man **I met** yesterday	the man (whom) I met yesterday
接続詞 that の省略	I think **he is** right.	I think (that) he is right.
S＋be の省略	**While in** London, she studied art.	While (she was) in London
比較の後の省略	He runs faster **than I.**	than I (run)
否定語の文頭	**Little did** he know what would happen.	He knew very little about what would happen.(全く知らなかった)
if の省略	**Had I known**, I would have helped.	If I had known
場所の語句の文頭	On the hill **stands** an old castle.	An old castle stands on the hill.
挿入	The plan, **it seems**, has failed.	It seems that the plan has failed.

◆ 実演：1文を対処法で崩す

オリジナルの難文。動詞→that→カッコ→省略の順で、骨格が見えてくる。

手順	見えたこと
原文	What the researchers found most surprising was that children who had been told they were good at puzzles gave up sooner than those who had not.
動詞を探す	主節の動詞は **was**。前の What ～ surprising が主語(他の動詞は節の中)
that の正体	was の後の that は接続詞。「～ということ」で補語
カッコでくくる	children [who had been told (that) they were good at puzzles] gave up
省略を戻す	those who had not (been told so)
訳	研究者たちが最も驚いたのは、パズルが得意だと言われた子どものほうが、言われなかった子どもより早くあきらめたことだった。

◆ 止まった時のやりがちミス 4

☐ ~~× -ed の語を見たらすぐ過去形の動詞と決める~~
○ 名詞の直後の -ed は過去分詞(後ろから修飾)を疑う
The students asked to stay were tired. の asked は「頼まれた」

☐ ~~× 分からない文を1語ずつ和訳しようとする~~
○ まず主語と動詞だけ取り出す
語の意味を足しても、構造が見えないと文意にならない

☐ ~~× 分からない文で止まって時間を使い切る~~
○ 印をつけて進み、後の文で答え合わせ
後半の設問を落とすほうが失点は大きい

☐ ~~× 分からない所を想像で埋めて選択肢を選ぶ~~
○ 本文の別の場所に根拠があるか確かめる
想像で埋めた内容は「本文にない常識」のダミーと同じ

◆ 確認テスト

1 The idea that the students suggested at the meeting sounds good. 主節の動詞(述語動詞)は？
a suggested　b sounds　c meeting　d idea

2 The cake my mother made for the party I missed was delicious. 省略された関係詞はいくつ？
a 3つ　b 0　c 1つ　d 2つ

3 Never have I seen such a crowd. を普通の語順に戻すと？
a I have seen never such a crowd.
b I never saw such a crowd have.
c I have never seen such a crowd.
d Have I never seen such a crowd?

4 Although the task was tedious, she finished it without complaint. tedious の意味として最も近いのは？
a 楽しい　b 簡単な　c 退屈な　d 重要な

5 The old man the boat. の man の品詞は？
a 動詞　b 形容詞　c 名詞　d 副詞

◆ 解答

1 sounds　suggested は関係詞節の動詞
2 2つ　動詞3つ(made・missed・was)
3 I have never seen such a crowd.　否定語が文頭→倒置
4 退屈な　Although＋文句を言わず→マイナスの語
5 動詞　the old＝老人たち が主語

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)